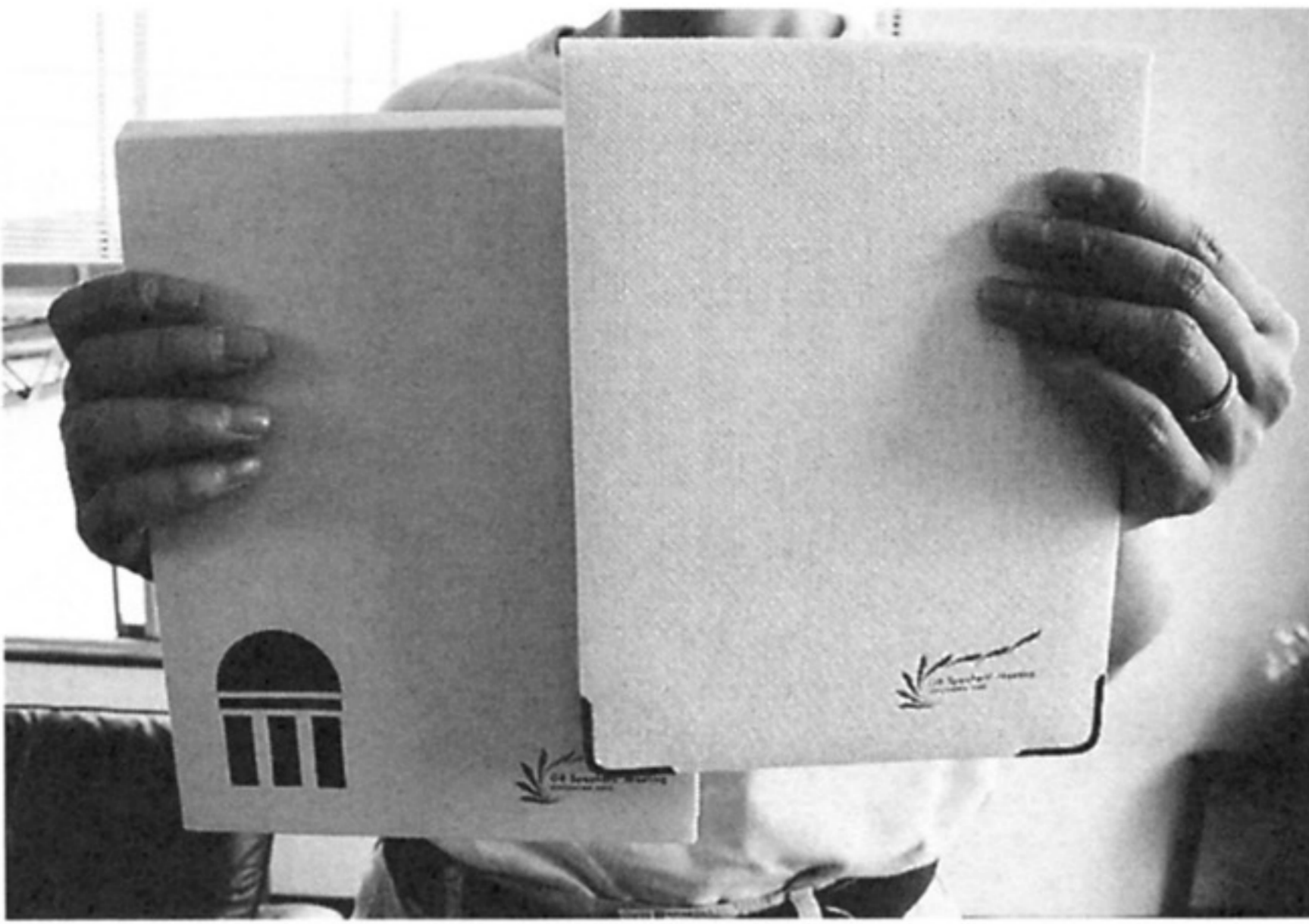


糸燃後備

和紙糸の生地を使った手帳 G8議長サミットの贈呈品に



備後燃糸(株) (福山市芦田町福

田八七二、光成猛社長) が製造

する和紙糸の生地を使った手帳

ケースⅡ写真Ⅱが、9月2日に

広島市で開かれる主要国(G8)

下院議長会議(議長サミット)

の贈呈品に採用された。

和紙を糸に変える「水燃^より製

法」という特殊な技術を、同社

が川崎燃糸(株) (福山市神辺町)

と共同開発。細く裁断した和紙

を特殊な溶液に浸してよりを掛

けることで、丈夫な和紙糸を実

現させた。手帳ケー
スに使われる生地は
通常のデニム生地よ
り少し太めの糸を採
用しており、しっか
りとした和紙糸の感
触が楽しめるのも特
長。

この和紙糸生地を

使って、製袋業の(株)鯨岡 (東京

都) が手帳ケースを製作。一七

センチ×二三センチの二つ折り型で、手

帳や便せん、書類などを収納で

きる。生地に議長サミットのロ

ゴ、パッケージには原爆ドーム

をあしらった。

『『平和と軍縮』をテーマに

協議する各国議長への土産物と

して、広島県産の糸が選ばれた

のは大変光栄なこと」と光成営
業部長。今後は「色やサイズ、
販売先などを、商品化に向けて
検討したい」と話している。

問 ☎ 084・958・

3355